

平成28年度 第2回健康づくり審議会議事録

- 1 開催日時
平成29年2月24日（金）午後2時00分～午後3時00分
- 2 開催場所
保健センター2階研修室
- 3 出席者
（1）委員
岡本和士委員（会長）、杉山敬委員、寺町信秀委員、大島明子委員、
深谷悦代委員、渡邊みゆき委員、岡島みさき委員
（2）事務局
保健センター所長 尾関礼子、主査 牧聡子、保健師主任 太田あゆみ
- 4 議題
（1）平成28年度とよやま健康マイレージ事業について
（2）平成29年度豊山町保健事業について
（3）豊山町母子保健体制について
（4）その他
- 5 会議資料
・平成28年度とよやま健康マイレージ事業
・平成29年度豊山町保健事業
・豊山町母子保健体制
- 6 議事内容（要点筆記）
【司会】 ただ今より、平成28年度第2回健康づくり審議会を開会いたします。私は、事務局を担当しております保健センター保健師の太田です。本日、この健康づくり審議会の司会進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
まずはじめに、本日、清須保健所近藤委員から欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告します。
議題にはいる前に、本日の審議会の配布資料の確認をさせていただきます。資料に不足等はございませんでしょうか。ありましたら、お申し出ください。
今回の審議会の議事録は、前回と同様、町公式ホームページに掲載させていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。
それでは、開会にあたりまして岡本会長から一言ご挨拶をいただき

ます。

【会長】 みなさんこんにちは。年度末のお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。今年度最後の審議会となりますので、しっかりと討論をよろしく願いいたします。

【司会】 それでは、以後の会議の進行については、岡本会長の取り回しでお願いします。

【会長】 それではただ今から、議事の進行をさせていただきます。

まず、会議録署名委員の指名ですが、大島委員と岡島委員を指名いたします。後日、事務局が本日の議事録を作成後、署名をいただきに伺いますので、よろしく願いします。

それではまず、議題（１）平成２８年度とよやま健康マイレージ事業について事務局からの説明をお願いします。

【事務局】 ー平成２８年度とよやま健康マイレージ事業について説明ー

【会長】 ありがとうございます。マイレージについてのご報告でした。やっぱり高齢者の方が多い傾向にありますが、今のご報告について何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。

【委員】 チャレンジシートは個人シートですか。

【事務局】 今年度は、個人でチャレンジしていただいています。

【委員】 家族カードのように、一人がチャレンジすると家族みんなが参加できるような仕組みだと対象がひろがるかな、と思います。

【事務局】 平成２９年度からの実施を考えている「親子でチャレンジ」では、そのような形もいかと案が出ています。

【会長】 他はいかがでしょうか。特に来年度からの案として「親子でチャレンジ」ということを事業として考えていますが、何かこんな内容がいいのではなどアイデアはありますか。

【委員】 ひとつ質問ですが、今年度と来年度で、実施を１か月早めたのには、何か理由があるのですか。

【事務局】 開始は今年度と同じですが、交換期間を１か月早めて７月からとしました。これは、保健センターで６月から集団健診を実施していました、その時にチャレンジシートをお渡ししますので、ちょうど１か月でポイントが貯まります。今年度は８月から交換を開始したので、少し待っていただいたので、来年度は７月から交換できるようにしました。健診の結果説明会をちょうど１か月後に行っていますので、健診のときにご案内し、１か月チャレンジをしてもらい、結果説明会で交換するという流れにしました。交換開始時期を１か月早くしたので、終了も１か月早め１月３１日までとしました。

【会長】 よろしいでしょうか。小学生を対象にということで、PTAの方は、ご家庭や学校で取り組めそうなことなど何か意見はございますでしょうか。

また意見がありましたらお知らせください。

この事業は、基本的には高齢者の方の参加が多くて、男性の方、特に社会保険に加入されている方は働いているということでなかなか難しいのかなと思います。先ほど意見にあったように、家族カードを作ると一家で取り組めたりしますね。また競争することでやる気が出ることもあるので、家族同士で競ったり、何ポイント以上ためると表彰するという制度などもあるかと思います。このマイレージ事業を発展させるための何かいい案がありましたら教えていただきたいと思います。事務局のほうへご連絡ください。来年度もマイレージを継続して、さらに小学生も対象に親子でやられるということで、ぜひ皆様からもこの事業をアピールしてもらって広めてもらえればと思います。ではこれで議題（１）については終わります。

続きまして議題（２）平成２９年度豊山町保健事業について事務局よりご説明をお願いします。

【事務局】—平成２９年度豊山町保健事業について説明—

【会長】 来年度は、議題（３）とも関係していきますが、母子保健事業の中で新規事業がありますが、何かご意見、コメントありますでしょうか。

【委員】 健康づくり推進事業の中の、健康マイレージ普及講座ですが、ヨガ講座とありますが、これは２８年度と同じように若い方が対象となりますか。

【事務局】 ２８年度は３０代４０代の女性を対象に実施しました。若い方の健康づくりを進めていくことが大切と考えていますので、２９年度も同じように３０代４０代の方を対象に行います。今年度参加した方からグループができて、自主的にやってみえるので、そのような方が増えて、自分の健康について考えられる若い世代の女性が増えることで、家族、夫や子どもの健康にも気をつけてもらえるようになることを目指し、企画しています。

【会長】 他にはいかがでしょうか。おおむね今年度と同じ事業に、母子保健事業で新規の事業があるということです。多岐にわたって色々な事業を行っているわけですが、特にないようでしたら、これに関連して議題（３）豊山町母子保健体制について事務局からの説明をお願いします。

【事務局】—豊山町母子保健体制について説明—

【会長】 新しい母子保健体制ということで、切れ目のない妊娠・出産支援事業についての説明でしたが、これについて、皆様からのご意見ありますでしょうか。

今、核家族で妊婦や産婦にメンタル疾患を抱える方が多く、それが子どもさんに反映されての不安定さで現れるということがありますので、妊娠期からお母さんに安定してもらって母子保健でいうと、健康な母子を育てるという意味では非常に大事かと思います。

【委員】 質問ですが、去年は豊山町ではどれぐらいのお子さんが生まれてい

ますか。

【事務局】 出生数は平成27年度は156人でした。

【委員】 乳児全戸訪問事業とあるので、これはみなさん訪問に行かれたということですか。

【事務局】 そうですね。全戸訪問させていただいています。年に1人2人、ちょっと訪問は、といわれる方もみえますが、その場合は、保健センターに来ていただくなどして支援しています。

【委員】 私の時よりすごくきめ細やかに支援されていると思います。私も訪問していただいた記憶があります。すごくいいことだと思います。

【会長】 156名の中にシングルマザーの方もみえますか。妊婦さんの中ではシングルマザーの方はハイリスクになると思いますが。

【事務局】 母子手帳発行時に未婚、または再婚の家庭のデータになりますが、17名みえました。

【会長】 1割ぐらいですね。そういう方たちは、働いてみえる方も多いので今までの事業への参加状況はどうですか。

【事務局】 お仕事をして見える方は多くて、母子手帳交付時は約半数が働いています。その方たちは、なかなかニューファミリー教室などの教室に参加できない状況があります。ですから、訪問や相談事業を増やし、要望があれば時間を合わせて相談をしていきたいと思っています。

【会長】 妊娠期からの事業は必要で、出産後間もない方をはじめ妊産婦さんに安心してもらえる、ちゃんと町がみてくれるという安心はすごく大きいと思います。一番不安になるのは、妊婦さんでいうと生まれる直前がメンタルが不安定になりやすいので、そこをサポートできるのは大きいかと思います。

【委員】 新規事業の産後ケア事業では、産婦さんからの要望を受け付けたり、不安に思っていることを相談できる窓口ができるということですか。

【事務局】 保健センターの姿勢では、母子手帳の交付時から人間関係を築き、困った時はいつでも連絡をくださいという方針でやってきましたので、それをさらに充実させます。また、産後健診を実施すると、医院での状況が保健センターでも把握できますので、心配な場合は連携を取ることができます。

【委員】 同居している家庭では、母親などが相談に乗るが、そうではないと聞く相手がないので困りますもんね。

【事務局】 その通りで、里帰りをして産むということは、そこで安心して産後を過ごすことができるのですが、里帰りをされない方が増えたので、こちらでは、予防接種手帳の交付時に、里帰りをされないとおっしゃった方全員に、訪問に行こうと計画しています。その時に、いい関係が築けると、保健センターの前を通ると健康のことを思いだしたり、子育てについて思うと言ってくれます。その関係が私たちの強みなので、保健センターに相談してくださいというのを、最初の出会いの妊

娠中から子どもが1歳ぐらいまでの方に伝えていくと、ずっと子育てを応援できるかと思います。

【委員】 だいぶ長期の支援になりますね。

【委員】 私も母子保健推進員で、十数年お世話になりました。OBとしては、やはり、周りのお母さんたちと仲良くなりましたので、周りのみんなが「何かあったら保健センターにすぐ電話をきなさいよ」という感じで、見守っていてくれる人がたくさんいると、よそから新天地へ引っ越してみえた方たちも安心されるのではないかな、と思います。昔のように向う3軒両隣というお付き合いをされていないので、保健センターや私たちのように少しお勉強をさせてもらった人が温かい目で見守ると、さらにこの事業も充実していくのではと思います。

【事務局】 母子保健推進員さんは地区ごとにいらっしゃるので、母子手帳の交付時に紹介しています。地区で見守ってくださるというのはすごく心強いことだと思いますので感謝しています。

【会長】 他にご意見やコメントなどはありますか。

【委員】 これは、母親と子どもだけの支援に聞こえるのですが、父親に対する支援はありますか。

【事務局】 来年度はまず母子に対する支援の充実を考えています。

【委員】 例えば、問題のありそうな家庭だと、一番身近なのが父親ですよ。何かあっても一番そばにいる、守ってくれるのは父親だと思います。時間的には難しいと思うが父親にも少しでも支援ができると、一番頼りにするのは父親なのでいいですよ。女性はこういう時期はこうだから、というのを伝えていくといいですよ。父親によってはそんなことはたいしたことない、で終わってしまう人もいますが、そういう時はどう接してあげるとよいか伝えといてあげると、態度の変わる人もいて母親も安心することもあるのではないかな。

【事務局】 出生届け時に予防接種手帳を交付するときに、父親に対してたばこのことは力を入れて伝えていますが、もうひとつ、メンタルのこと、産後のお母さんはこうですよというパンフレットなどを配るのもいいかと思いました。ありがとうございます。

【会長】 以前、学生の研究で、家庭内虐待はどのように起こるのかを調べたら家庭内孤立と社会的孤立がありました。旦那は「子育てはお前の仕事だ、俺は仕事が忙しい」と言い、家庭内孤立していて、自分しかいないので段々と、一番かわいい盛りのお子さんが増らしくなってしまう。どうして泣くの、どうしてぐずるのと思ってしまう。意見にあったように、ニューファミリー教室の中で、まず旦那さんを巻き込んで、旦那さん用の内容も入れていくと、そのような孤立も減るのではないかな。家庭や地域での孤立が課題とあるが、妊婦の時から孤独だと感じると子どもを産むのがいやになったり、子育てがいやになったりする

ので、家族を巻き込むような仕掛けがあるといいのかなと思いました。

【事務局】ニューファミリー教室は、以前から土曜日に年2回開催していますが、今年度から、教室の中で母親と父親がわかれてそれぞれグループワークをし、今どういう気持ちでいるのか、どのように母親をサポートしていくと良いかというのを話しています。父親への支援も少しずつ取り組み始めています。

【会長】 他はよろしいでしょうか。なかなか父親への支援は難しいですが、できるだけ巻き込めるように、色々な仕掛けをすることでこちらからの働きかけもしやすくなるかもしれません。

他にご意見はありませんか。またご意見等ございましたら事務局のほうにお寄せください。ではこれで議題（3）については終了します。次のその他について事務局より何かありましたらお願いします。

【事務局】 皆様の任期についてお知らせします。今年度の審議会は本日で終了です。皆様の委員としての任期は、平成28年7月21日から平成30年7月20日までとなっております。来年度の審議会においても、審議会委員として従事していただくこととなります。なお、小中学校のPTAの方におかれましては、1年ごとの交代となります。ご協力ありがとうございました。次の方への引き継ぎをお願いいたします。来年度も、年2回の開催を予定しています。開催日時については、改めて文書でご連絡させていただきますので、よろしくをお願いいたします。事務局からの連絡は以上です。

【会長】 本日予定をしておりました審議会の議題については、全て終了しました。これをもちまして、平成28年度第2回健康づくり審議会を閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。

議事録の署名

平成29年3月8日

岡本 和士

大島 明子

岡島 みさき